

ノギスの校正



一般財団法人

日本建築総合試験所

ノギスは標準器(ブロックゲージなど)を用いて校正することによって
国家計量標準へのトレーサビリティを確保することができます。

ノギスとは

ノギスとは、本尺と副尺をもち、それらの各測定面間に物を挟む又は当てて、厚さ及び直径の寸法測定に使用する測定器のことです。指示値の読取り方法として、バーニヤ目盛、ダイヤル目盛又は電子式デジタル表示があります。

ノギスの校正

・校正条件

校正は、次の環境条件で行います。

温度; 10℃~30℃

湿度; 20%~80%

・標準器

ブロックゲージ

段差ゲージ

・校正方法

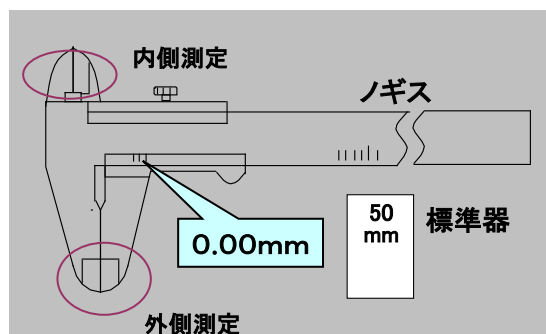
標準器をノギスの外側測定面間に挟み、そのときのノギスの指示値を読取り、差を確認します。

・校正結果

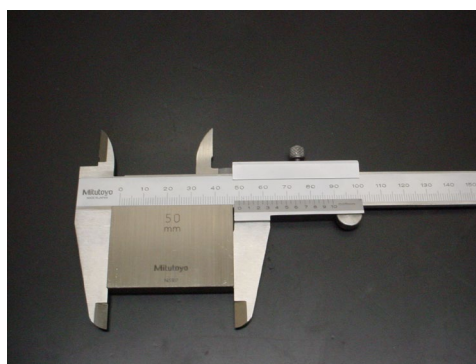
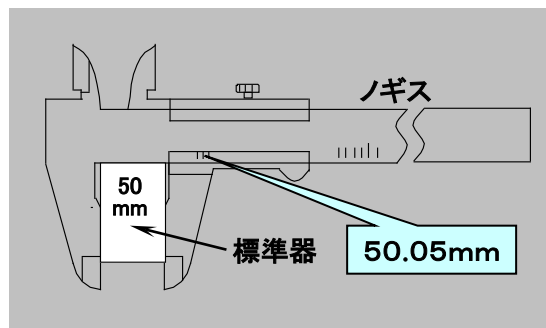
指示誤差を計算します。

指示誤差 : $50.05 - 50.00 = +0.05$

右図では、外側測定が0.05mm大きな値を示すノギスであることがわかります。



↓ 50mmのブロックゲージを挟む



ノギスの校正の状況

【関連規格】

・JIS B 7507 「ノギス」